

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	二級河川 岡の下川水系 千同川 通常砂防事業に伴う業務委託
事業名 または 工事名	二級河川 岡の下川水系 千同川 通常砂防事業
調査目的及び調査対象	砂防 構造物基礎

ボーリング名	R2-4号No.3	調査位置	広島県広島市佐伯区五日市町坪井	北緯	34° 23' 11.0676"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	2021年 8月 16日 ~ 2021年 8月 20日	東経	132° 19' 46.8429"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
孔口標高	T.P. 254.93m	角	180° 上下 90°	コ	ア 確 定 者
総削孔長	11.00m	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平0° 鉛直90°
		使用機種	東邦地下工機D0-D	エンジン	ヤンマーTF120M
				ポンプ	東邦地下工機BG3-C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地層名	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試験採取番号	採取方法	室内位置試験	削孔月日				
												深度-N値図		N値	100mmごとの打撃回数	200mmごとの貫入量	50回の貫入量					自沈時の貫入量	深	試	採
1	253.48	1.45	礫混りシルト質砂	礫混りシルト質砂		褐	中位			φ2~20mmの垂角礫を混入するシルト質中粒砂~極粗粒砂主体である。植物根を混入。	68/19 3.92	12	1.15	1	5	6	12	300							
2	252.13	2.80	礫混り砂	礫混り砂		黄褐 / 褐灰	rd1			φ2~30mmの垂角礫を混入する中粒砂~極粗粒砂主体である。部分的に礫量が多く砂礫状となる。		3	2.16	1	2	3	300								
3			玉石混り砂礫	玉石混り砂礫		黄褐	rd5			φ10~40mmの垂角礫を30~50%混入し、混入礫は岩片状が多い。基質は細礫~粗粒砂。最大コア長L=27cmの玉石を混入。		65	4.15	4	30	16	50	230							
4	249.93	5.00	礫混りシルト質砂	礫混りシルト質砂		褐灰	中位			φ2~30mmの垂角礫を混入するシルト質中粒砂~極粗粒砂主体である。部、礫量多く砂礫状となる。		14	5.15	7	4	3	14	300							
5	247.93	7.00	礫混り砂	礫混り砂		褐灰	rd5			φ2~20mmの垂角礫を混入する中粒砂~極粗粒砂主体である。		16	6.15	3	6	7	16	300							
6	247.23	7.70	風化花崗岩	風化花崗岩		淡褐灰				岩石組織は明瞭で、長柱状コア主体となる。コア肌は粗く、ハンマーの軽打にて濁音~金属音を発し亀裂を生じる。判別できる亀裂は15°~30°主体。CL級。		58	7.41	16	18	16	50	260	260						
7			花崗岩	花崗岩		淡褐灰				岩石組織は明瞭である。長柱状コア主体となるが、部分的に岩片状コアとなる。コア肌は粗く、ハンマーの軽打にて濁音~金属音を発する。CM級。		300	8.00	50	50	50	50	50							
8												500	9.00	50	30	50	30	30	30						
9	244.93	10.00										10.00	10.00	0	0	0	0	0							
10	243.93	11.00										11.00	11.00	0	0	0	0	0							